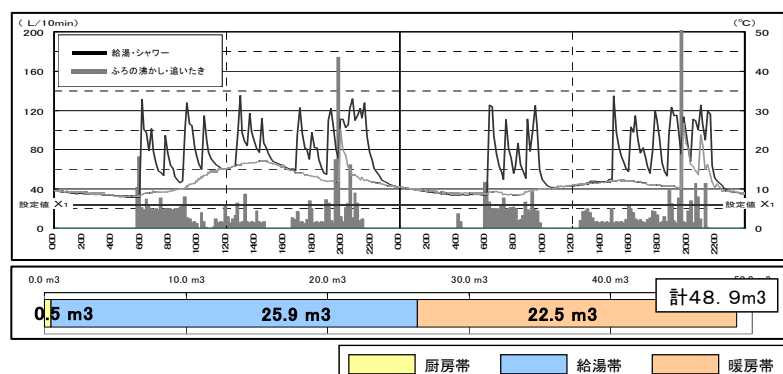
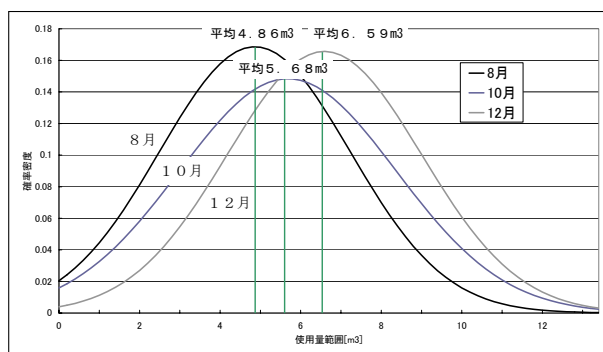


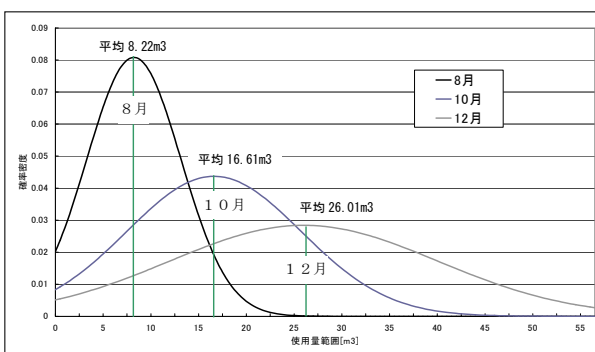


②「厨房帯」「給湯帯」「暖房帯」のガス使用量の、季節毎の平均値及び分布幅を確認できた。

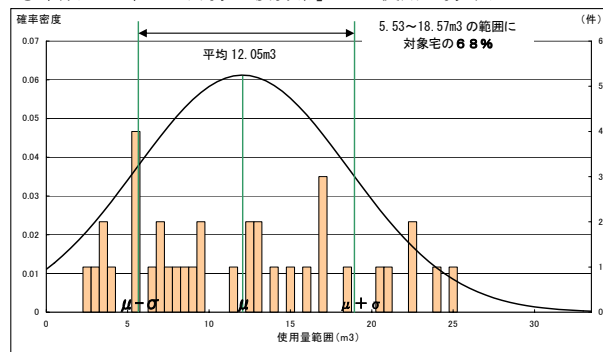
◎平成16年8～12月分「厨房帯」ガス使用の分布データ



◎平成16年8～12月分「給湯帯」ガス使用の分布データ

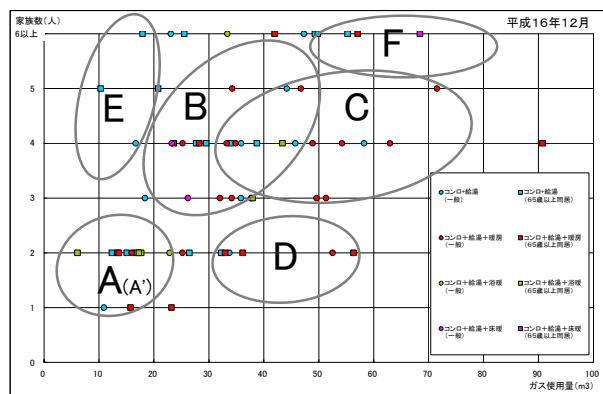


◎平成16年12月分「暖房帯」ガス使用の分布データ



- ・「厨房帯」におけるガス使用量は平均5～7m³程度で、季節差による変動は極めて小さい。
- ・「給湯帯」によるガス使用量は平均8～26m³と、季節による変動は極めて大きい。分布幅も広範囲。
- ・「暖房帯」によるガス使用量は、広い範囲に分布しているが、極端に多くのガスを暖房帯用に使用する事例はみられない。

③消費者を、ガス使用量（月間）、家族構成（家族数・シルバー層の有無）、保有ガス器具の3要素でグループ分けしてその使用実態を捉える「MT分析」の開発により、料金メニュー提案の重要性がより明確になった。



- ・グループA
2人以下（若年層） コンロ+給湯 20m³未満
(A' 2人以下（シルバー層のみ） コンロ+給湯 20m³未満)
- ・グループB
3人以上（子供と同居） コンロ+給湯 20～50m³
- ・グループC
3人以上（子供と同居） コンロ+給湯+暖房 30～80m³
- ・グループD
2人以下（シルバー層のみ） コンロ+給湯+暖房 30～60m³
- ・グループE
3人以上（子供と同居） コンロ+給湯 20m³未満
- ・グループF
5人以上（3世代同居） コンロ+給湯+暖房 50m³以上
〔神奈川県における、12月の月間ガス使用量での値〕

4. 調査結果の今後の活用、調査結果を踏まえた今後の取り組み

- ・LPガスの使用実態がわかった事で、使用実態に合わせた競争力のあるLPガス料金の価格設定が可能となった。
- ・LPガス販売事業者が顧客との継続的な信頼関係を構築し、ガスの需要拡大を図る手段として「HyC-5を用いた新料金メニュー」を選択する判断材料になる。

5. 補助金確定額

¥26,047,122円